



HOW TO POSITION ERITREA ON THE MAP?

エリトリアを地図でどう表現するか？

**A DIALOGUE WITH GEOGRAPHERS
AT KOMAZAWA UNIVERSITY**

TOKYO JULY 13 2013

駒澤大学における地理学者たちとの対話

東京、2013年7月13日

Ambassador ESTIFANOS Afeworki

駐日エリトリア大使 エスティファノス・アフォワキ

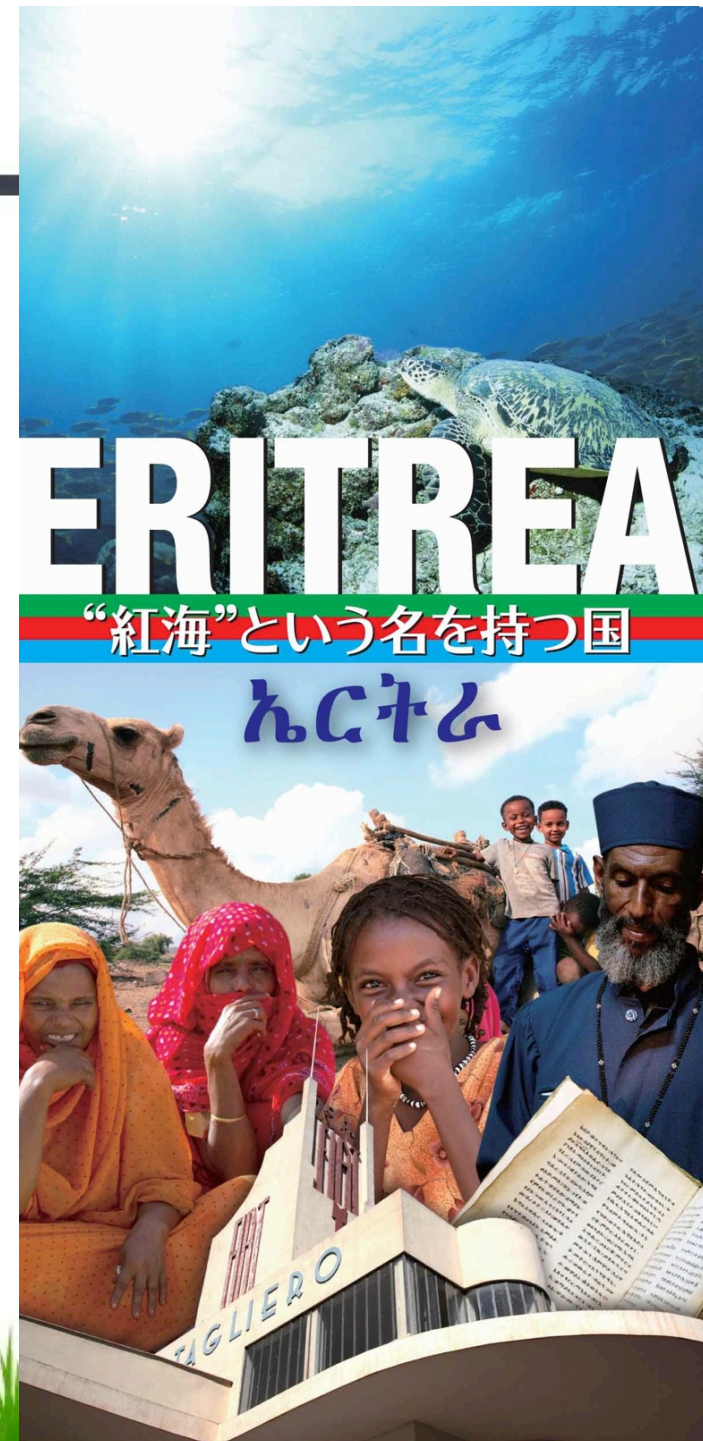


Basic information of Eritrea

エリトリア基礎情報

エリトリア基礎情報

国名	民族言語
エリトリア国	アフア、ビレン、ヘデレブ、クナマ
大統領	ナラ、ラシャイダ、サホ、ティグレ
イサイアス・アフエウォルキ	ティグリーニャ
独立記念日	宗教
5月24日	テフワド(エリトリア正教とも呼ばれる)とイスラム教。
時差	カトリック、プロテスタント
GMT+3 (日本より6時間遅れ)	アンナ教等もある
通貨	農業
ナクファ	穀物、食用油、豆類、野菜、切花、
国土面積	綿、コーヒー、サイザル麻、家畜、魚
124,300km ²	工業
標高	食品加工、飲料、革製品、衣料
海面下-116mから海拔3018mまで	繊維製品、ガラス加工、陶器
最高点:アンバソイラ(3018m)	鉱産資源
最低点:コーバー窪地(-116m)	塩、金、銀、カリウム、亜鉛、銅、鉛
人口	鉄鉱石、御影石、大理石、石灰石等
約540万人(2011年)	エネルギー資源
主要言語	原油、天然ガス
英語・ティグリーニャ語・アラビア語	



Welcome to Eritrea

エリトリア概要

3 SEASON in 2 HOURS

紅海に沿って細長く、海辺から3000mを超える高山地帯までの高低差に富む国土を持つエリトリアでは、アフリカ大陸一つ分とも言える多様な環境を体験することができます。また、紅海の要衝に位置することから、数千年の間、文明の十字路として発達し独特の洗練された文化を育んできました。アフリカの大自然と、歴史豊かな文化遺産を楽しむエリトリアへようこそ！



市場の町カレン
野菜果物、酪農製品や織物など買物が楽しい町。民族の十字路でラクダのキャラバンやトルコ様式モスク、イタリア近代建築などが混在する。大戦中のイギリス軍とイタリア軍の激戦地でもあり今も美しい墓地が残る。



ワイルドの森
アフリカ大陸で最も北に位置する熱帯雨林。国中の森がダメージを受けた時も生き延びた森で、人々に神秘的な森として崇められている。昆虫や植物、動物でさえもまた未発見の種が生息している可能性がある。



デアレ・ビゼンの僧院
険しい岩山の頂にある14世紀創建の由緒ある僧院。千冊を超える中世の写本が残されており、宗教画の描かれた羊皮紙の本も含まれている。僧院からの眺めは絶景で晴れた日には80km先の紅海も見える。



エリトリアの自転車競技
自転車ロードレースは、国技と言えるほど人々に熱狂的に愛されている。毎年「ワールド・エリトリア」など国際大会も開かれ、ダニエル・テケレハイマメットなど国際的に活躍する選手も輩出している。

古代からの文明の十字路



エリトリア鉄道
“アフリカで最も美しい車窓をもつ”と謳われるエリトリア鉄道。1930年の蒸気機関車が現役で走り、海拔0mのマッサワから2350mのアスマラまで数多のトンネルを抜けながらアフリカ大地帯の急崖を駆け上がる。



紅海の真珠マッサワ
最も暑い4月には40℃を超えることも。紅海上の要衝であり、古代ギリシャ、エジプト、オスマントルコ、イタリアなど様々な文明が去来した歴史ある港町。今は海水浴やダイビングに訪れる観光客でにぎわう。



ダハラック諸島(ダフラク諸島)
360の島からなる群島で、紅海で最もすばらしいダイビングが楽しめるエリア。地理的に紅海からアフリカ内陸部へのブリッジとして機能してきたため、阿克苏ム王国やそれ以前の文明の考古学遺跡も豊富にある。



首都アスマラ
熱帯にありながらも高地なので初夏の軽井沢のような快適な気候。イタリア植民地時代に「第二のローマ」として開発されたため世界有数の規模で1920～1930年代のアルデコ建築が残されヨーロッパの古都のような佇まいである。



抵抗の象徴ナクファ
レジスタンスの象徴である町ナクファ。独立戦争中に山中に漂い巡らされた断崖は総延長数百キロにもなると言われておりその全貌はいまもお調査中である。独立後はエリトリア通貨の名前にもなった。



ヨハイト考古学遺跡
古代ギリシャでKoloeと呼ばれる町の遺跡で1～4世紀の阿克苏ム王国時代に栄えた。紅海の港町アツクと内陸の阿克苏ムの中継地として発展した。岩絵、彫刻、円柱構造、ダム、集団墓地などが発見されている。

- #### エリトリアの歴史
- 先史時代…200万年前の人類の痕跡
 - アドゥライト時代…B.C.9世紀～A.D.5世紀
 - アクスム王国時代…A.D.1～9世紀
 - 5大ベジャ王国時代…8～13世紀
 - ハハレ・ネガシュ時代…14～18世紀
 - オスマン・トルコ時代…15～19世紀
 - エジプト…1846～1885年
 - イタリア植民地時代…1881～1941年
 - イギリスの統治…1941～52年
 - 国連におけるエリトリア所属の討議…第二次世界大戦後
 - エチオピアへの併合…1952～91年
 - 独立への闘争…1952～91年
 - 住民投票そして独立…1993年

- #### エリトリアの鉱産資源
- 鉱産資源にめぐまれたエリトリアでは、さまざまな資源を産出しています。
-
- プラチナ、クロム、アスベスト、ウラン、ベリリウム
 - 長石、雲母、鉄、重晶石、銅、金、銀、鉛、コバルト、黒鉛
 - 黄鉄鉱、石炭、プラチナ、ニッケル、磁鉄鉱、ケイ土、粘土
 - 大理石、炭酸カリウム、塩(岩塩、海塩、大陸性塩、炭酸カリウム塩)、石油、天然ガス

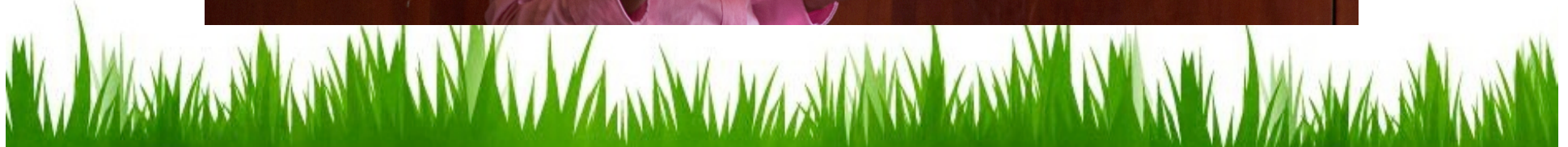
アフリカ大陸が丸ごと詰まった多様な自然



Asmara



Crossroad of civilizations



Locomotive



National sport





Forest of Filfil



Debre Bizen



Massawa



Red Sea



Qohaito



Rock painting at Qohaito



Keren



Nakfa

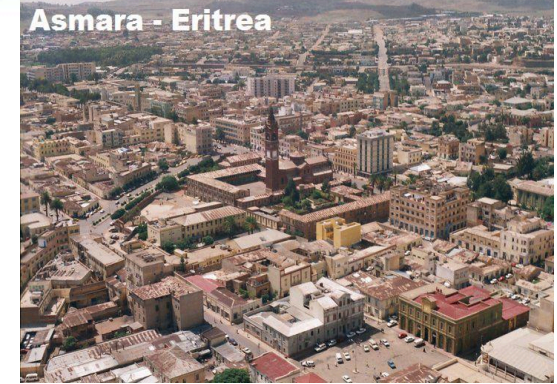
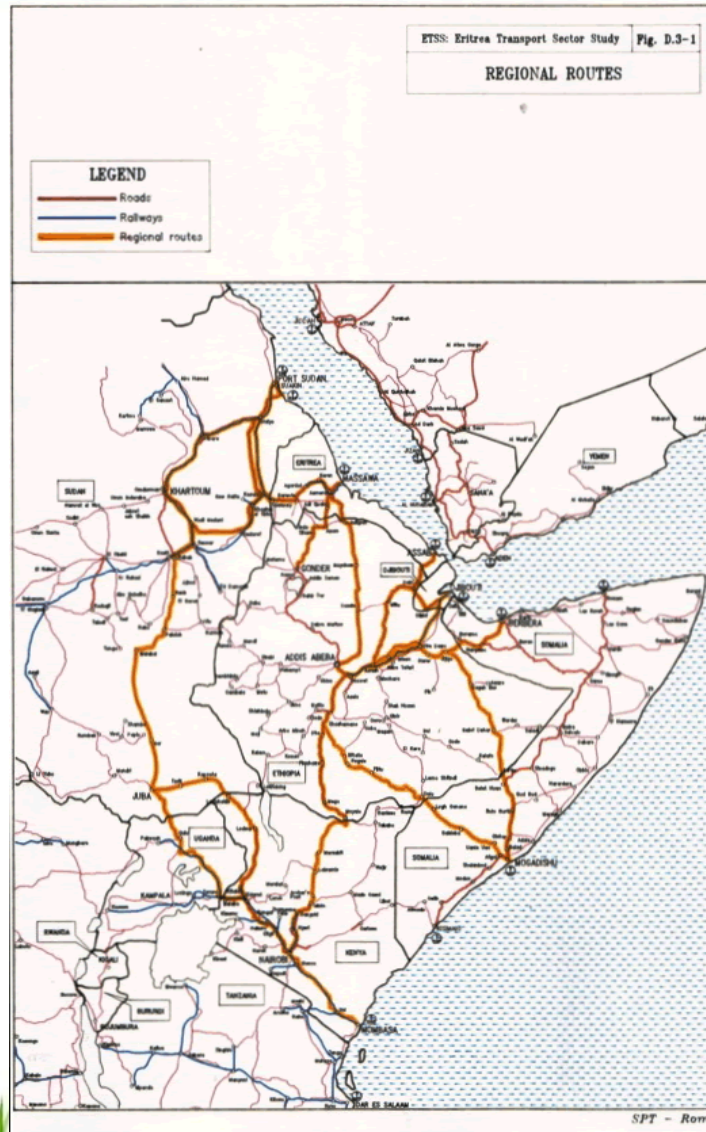


Dialogue

- What does Eritrea offer as a trade corridor between Africa and the commercial centers of the Red Sea/world?
エリトリアはアフリカと商業の中心である紅海/世界との間の交易回廊として何を提供できるか？
- What is the special significance of the 3600 kms coastline?
3600kmの海岸線という特徴は何を意味するのか？
- What is Eritrea's coastline in terms of regional transport references?
広域的な運輸リファレンスという意味でエリトリアの海岸線とは何なのか？
- What is so special about the coastline of Eritrea?
エリトリアの海岸線は何がそれほど特別なのか？
- What is so special about the hinterland of Eritrea?
エリトリアの後背地は何がそれほど特別なのか？
- What is the major constraint now?
現在の主な制約とは何か？
- Conclusion reached by geographers on the map
地理学者たちによって地図の上で到達された結論



TRADE CORRIDOR 經濟回廊



COSATAL LINE AND ITS INFLUENCE ON THE HINTERLAND

海岸線と後背地へのその影響



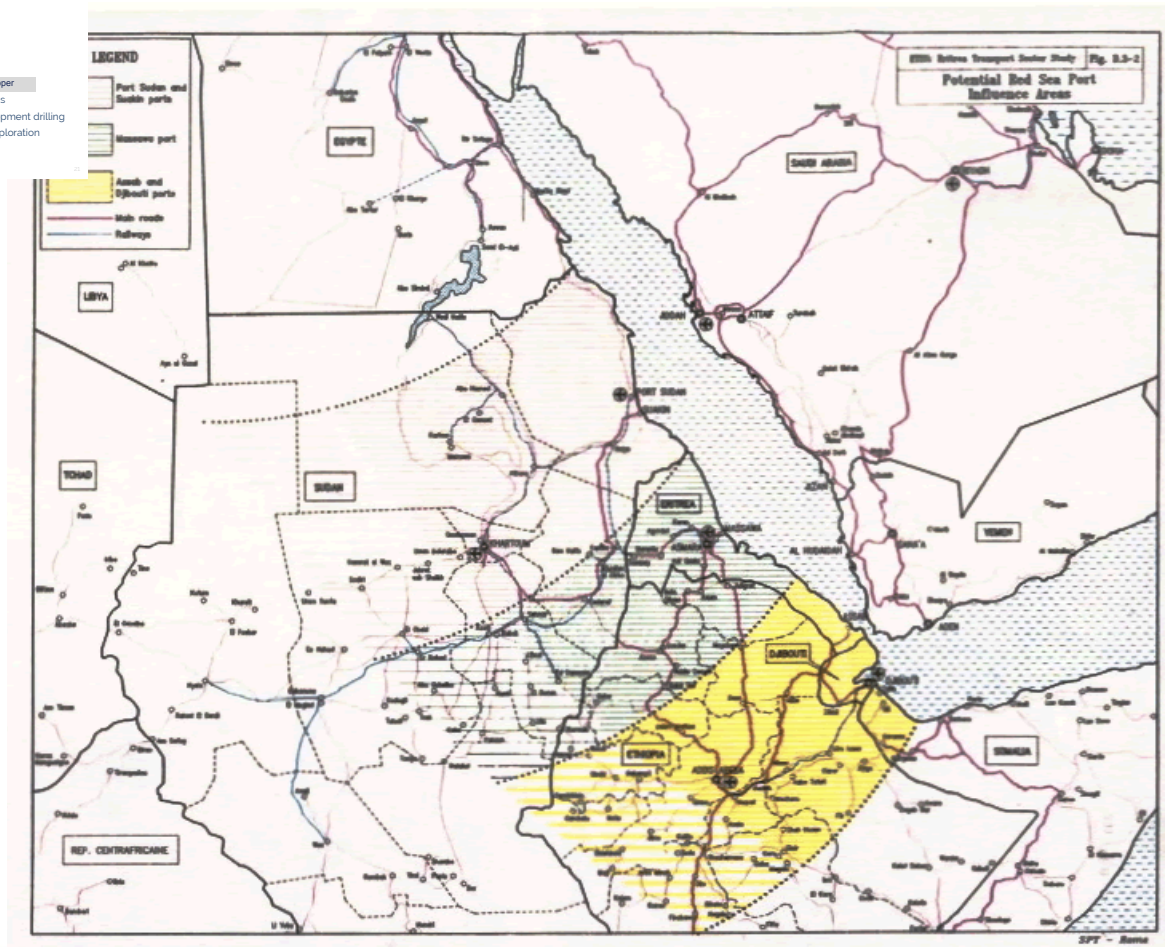
Delivering Results

2012 Achievements

- ✓ Exceed production targets
- ✓ Pay 55 semi-annual dividends
- ✓ Release increased resource/reserve statement
- ✓ Obtain mining license & mine Harena
- ✓ Infill drill NW Zone

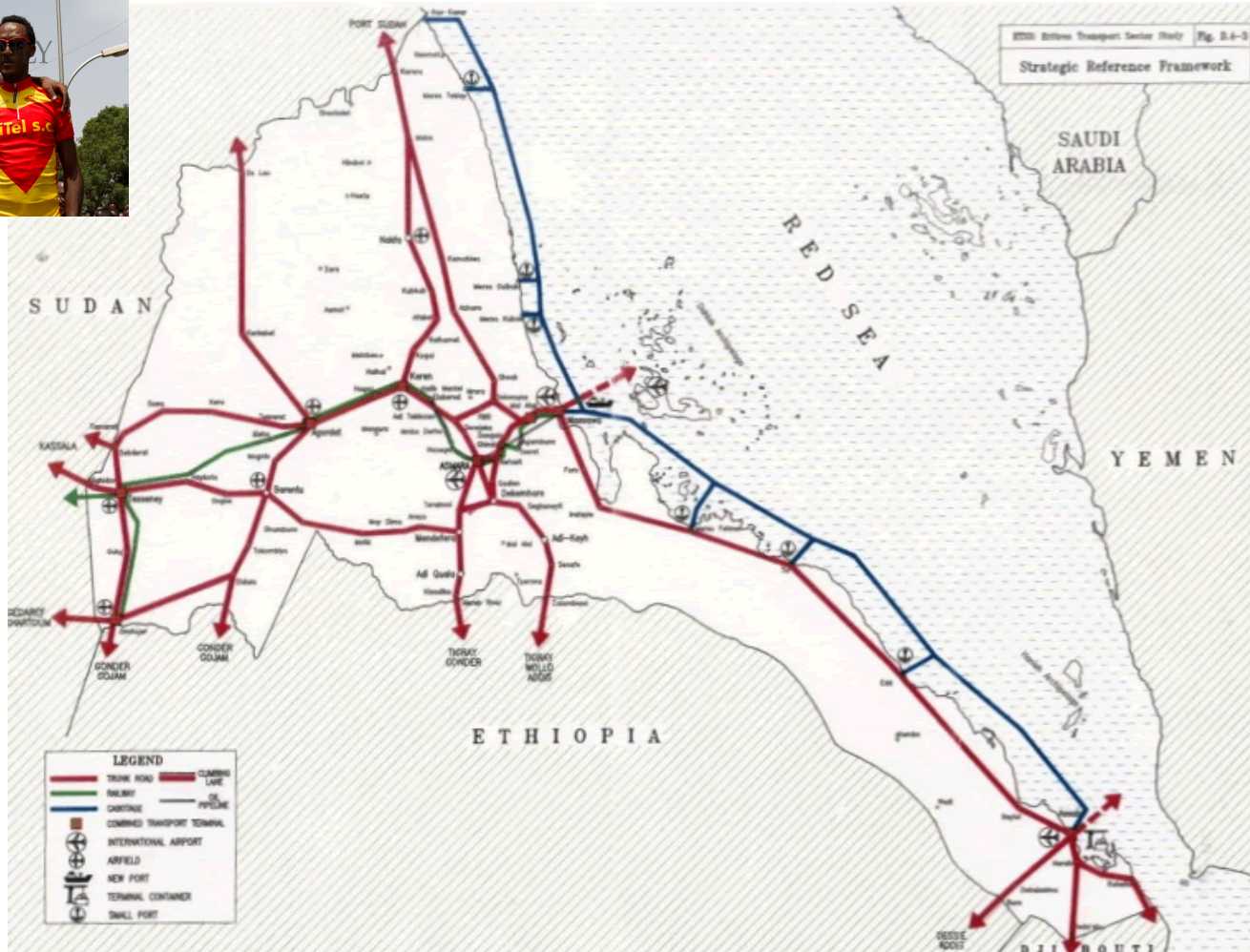
2013 Objectives

- Transition to copper production
- 80-90 Moz Gold | 60-80 Mbs Copper
- Continue peer-leading dividends
- Grow resources through development drilling
- Conduct regional generative exploration
- New projects, new countries



STRATEGIC REFERENCE FRAMEWORK

戰略的基準枠組

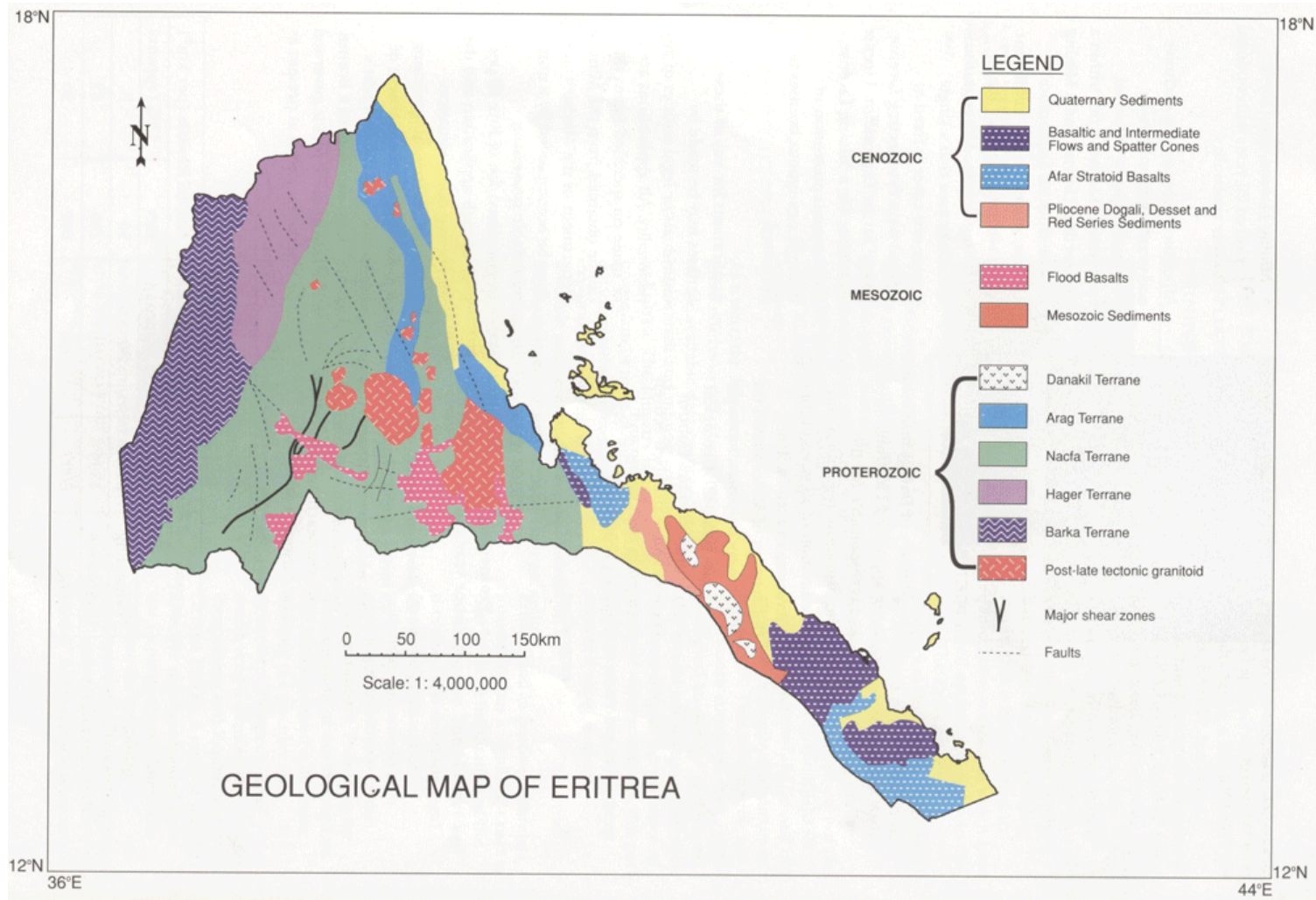


WHAT IS SO SPECIAL ABOUT ERITREA'S COASTAL LINE? エリトリアの海岸線の何がそれほど特別なのか？



NATURAL RESOURCES

天然資源



THE HIGHEST GRADE OPEN PIT MINES IN THE WORLD

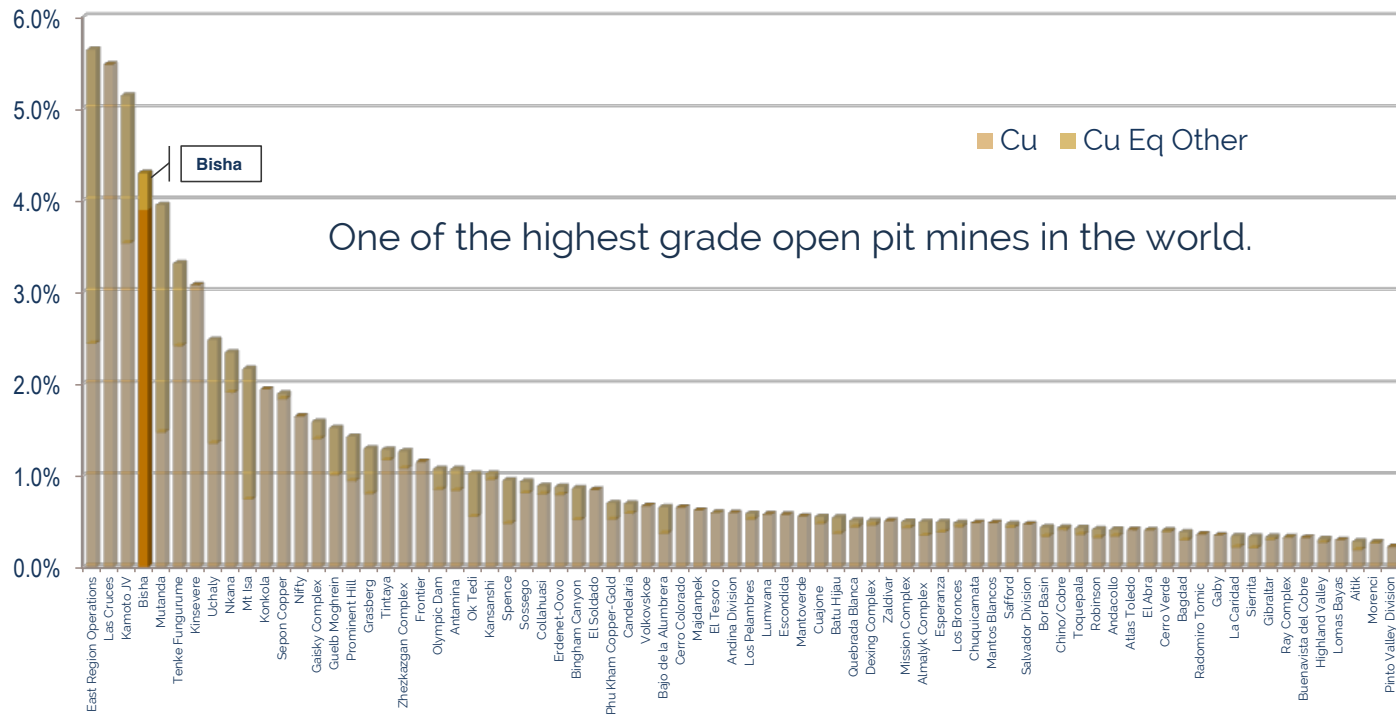
世界でも最高グレードの露天掘り鉱床



RBC Capital Markets®

Bisha vs. Grades from the World's Largest Copper Mines

Copper Equivalent Grade¹



Source: RBC Capital Markets and Metal Economics Group

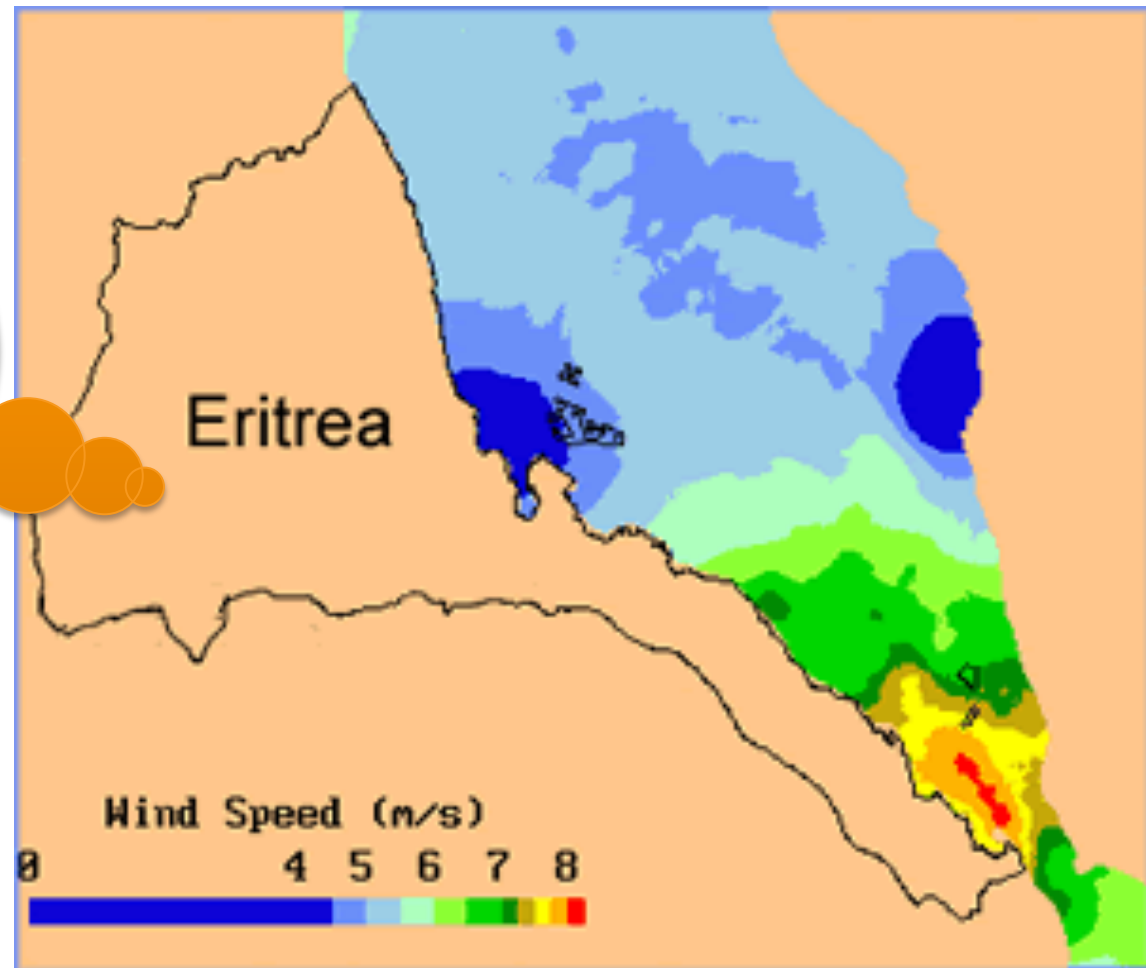
(1) Copper equivalent at spot prices at Nov 1, 2012

CLEAN ENERGY

クリーンエネルギー

According to
Ministry of Energy
and Mines of
Eritrea a minimum
of 14,000MW of
wind power could
be harnessed

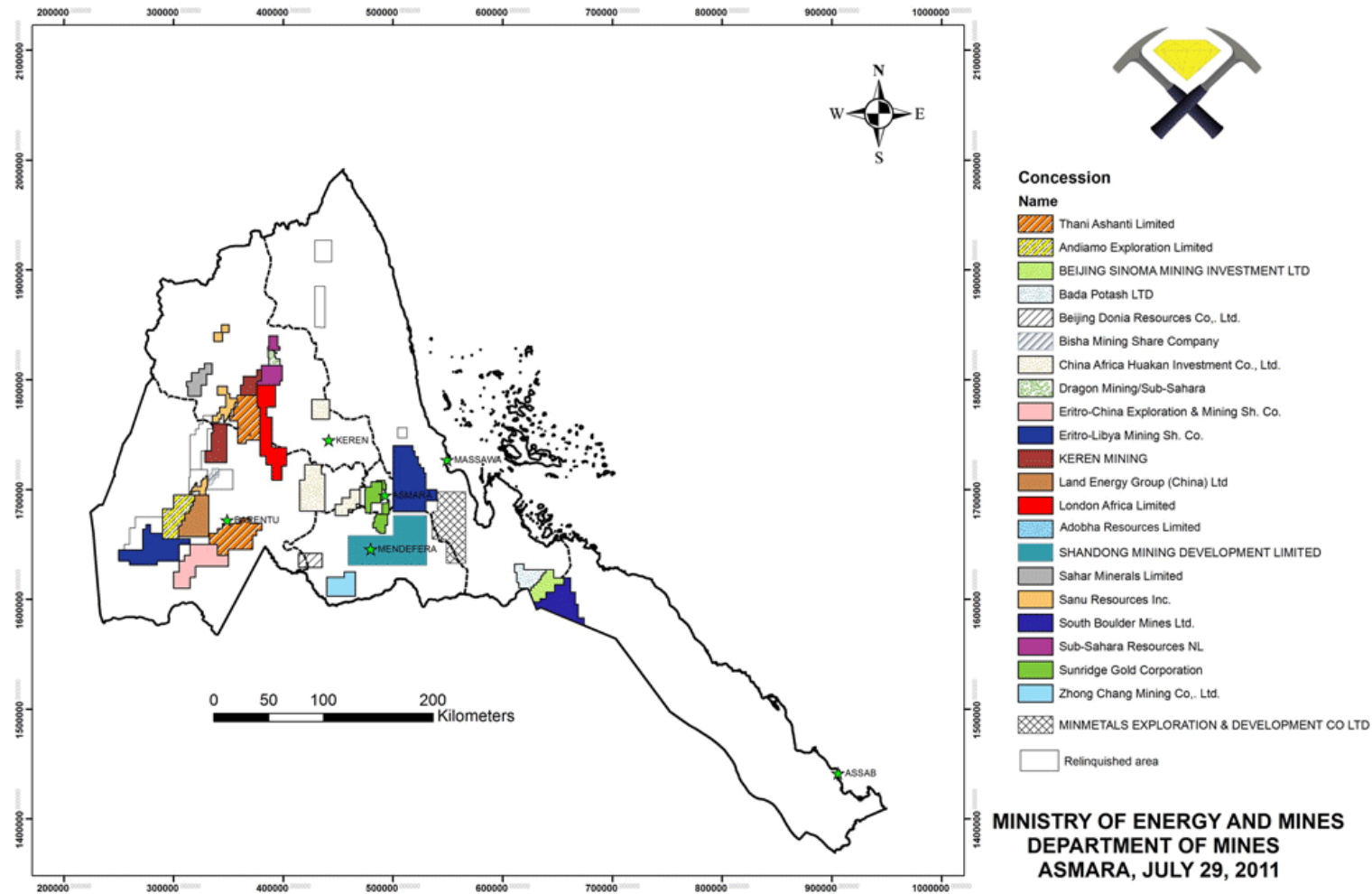
エネルギー鉱山省によれば
エリトリアは1.4万MWの
風力を利用することができる



MINERAL CONCESSIONS

鉍山採掘權

MINERAL CONCESSION OF ERITREA



MINERAL OCCURRENCE

鉱物産出地域

Average annual production of Asmara Project shall be:

アスマラプロジェクトにおける平均年産出量は:

±65 M lbs. (29,000 t) copper 銅

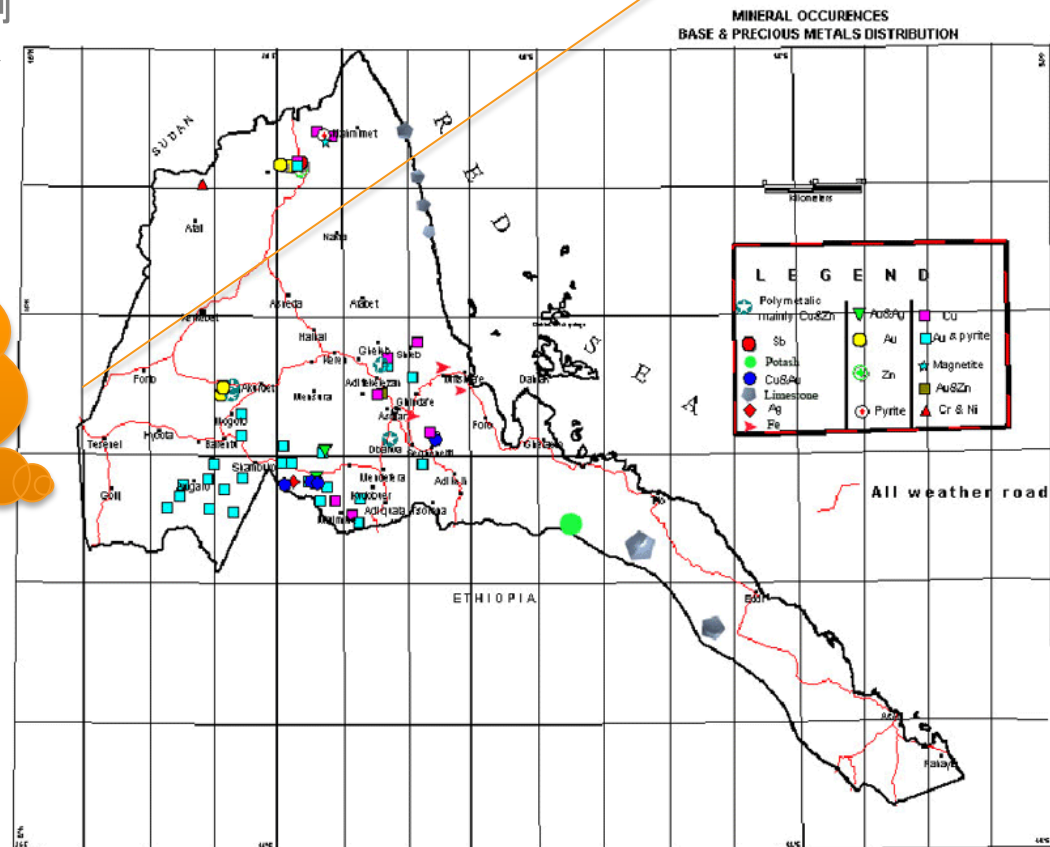
±184 M lbs. (83,000 t) zinc 亜鉛

±42,000 oz gold 金

±1 M oz silver 銀

Experts from Nippon Mining revealed this in early seventies

日本鉱業株式会社(現:JX日鉱日石金属株式会社)が1970年代はじめにこれらを明らかにした



ERITREA IS COMMERCIALLY VALUABLE PARTNER

価値ある経済パートナー



IDEAL LOCATION FOR EXPORT ORIENTED MANUFACTURING

輸出向け製造業にとっての理想的なロケーション

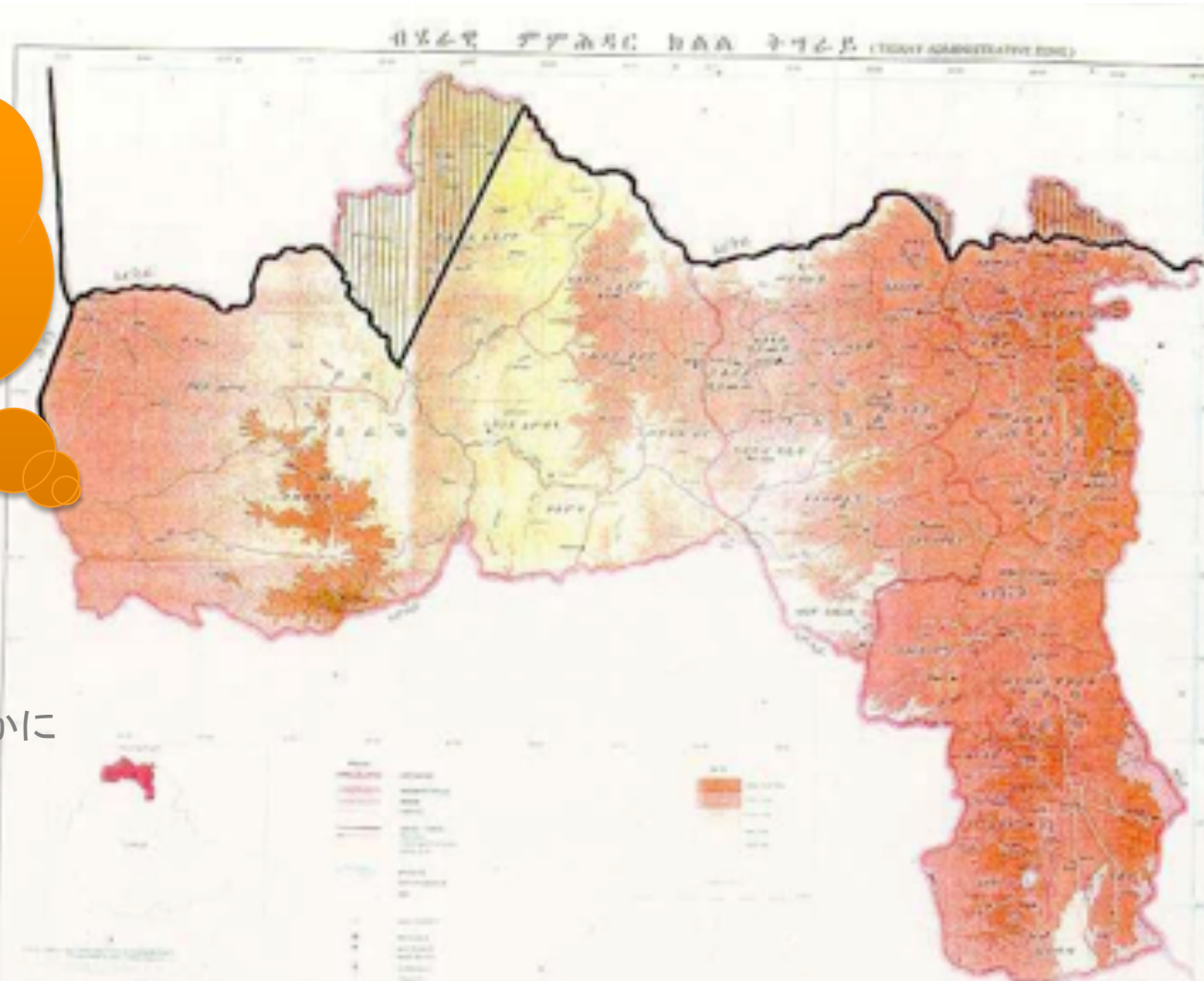


CONSTRAINTS

制約

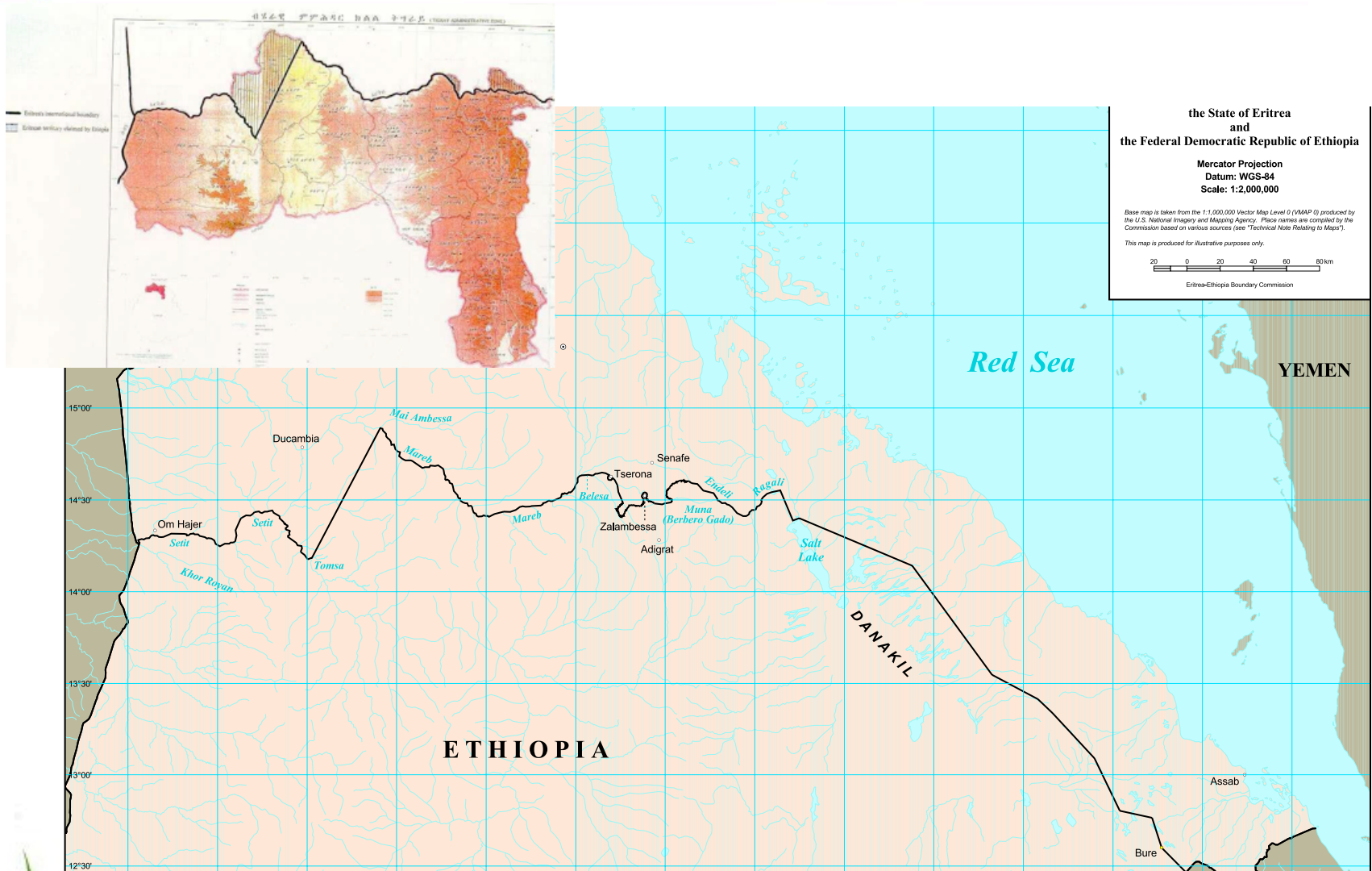
NOVEMBER 1997:
TIGRAY/ETHIOPIA
PUBLISHED A NEW
POLITICAL MAP
WHICH INCLUDED
SIGNIFICANT
AREAS OF ERITREA

1997年12月
ティグライ/エチオピアは
新しい政治地図を
発行したが、それは明らかに
エリトリア領である地域を
含んでいるものであった



INTERNATIONAL BOUNDARY BETWEEN ERITREA AND ETHIOPIA

エリトリア・エチオピア間の国際的な国境

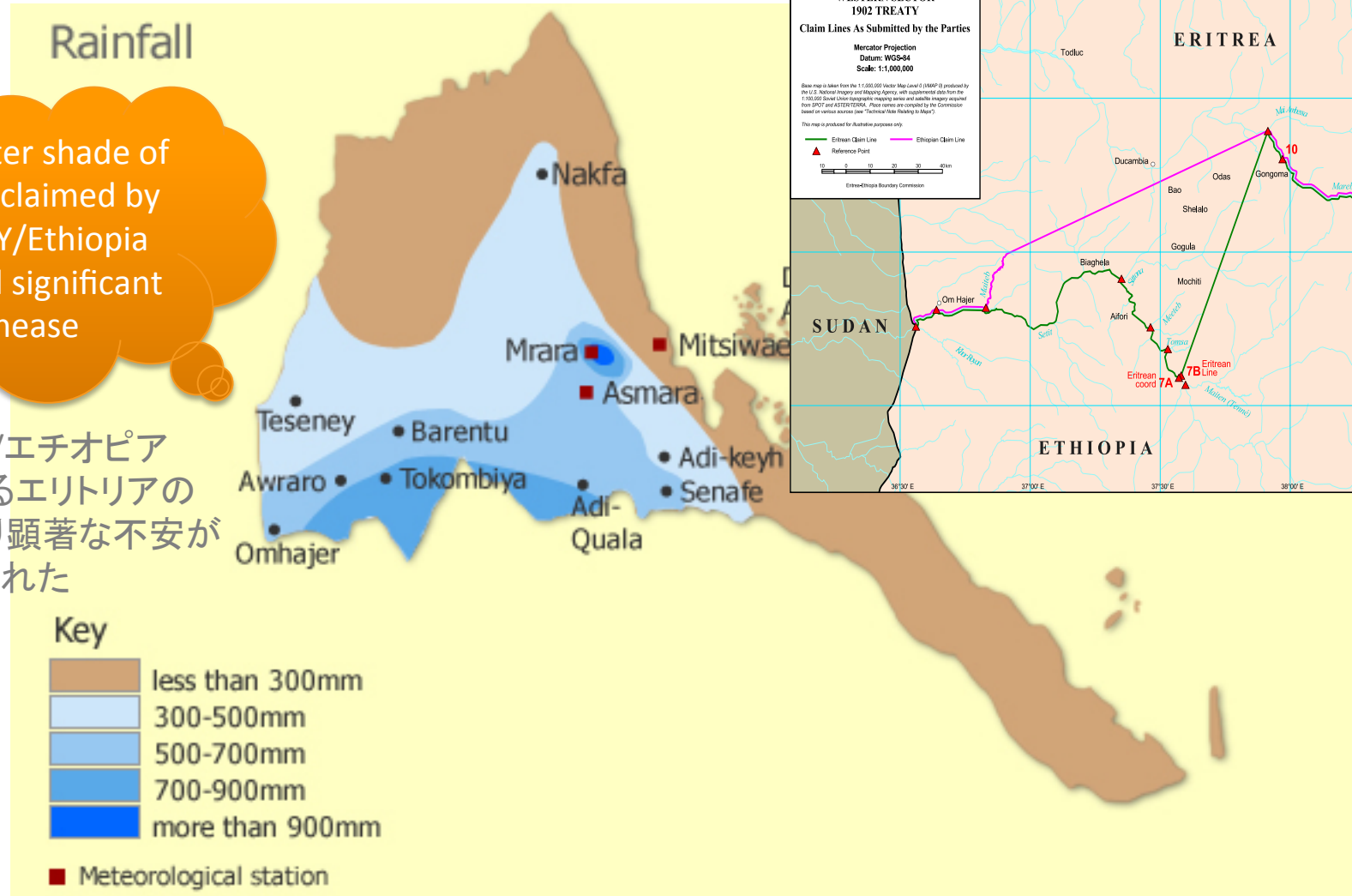


RAINFALL MAP

降水量分布図

The water shade of Eritrea claimed by TIGRAY/Ethiopia created significant unease

ティグライ/エチオピアが主張するエリトリアの流域により顕著な不安が引き起こされた



BIRDS EYE VIEW OF ERITREA BY GEOGRAPHERS 1

地理学者たちによるエリトリア鳥瞰図

Eritrea



エリトリア

© 2000 NASA / JPL / ESA / DLR / CNES / ASI / ISRO / BIRDS EYE VIEW

BIRDS EYE VIEW OF ERITREA BY GEOGRAPHERS 2

地理学者たちによるエリトリア鳥瞰図

Eritrea

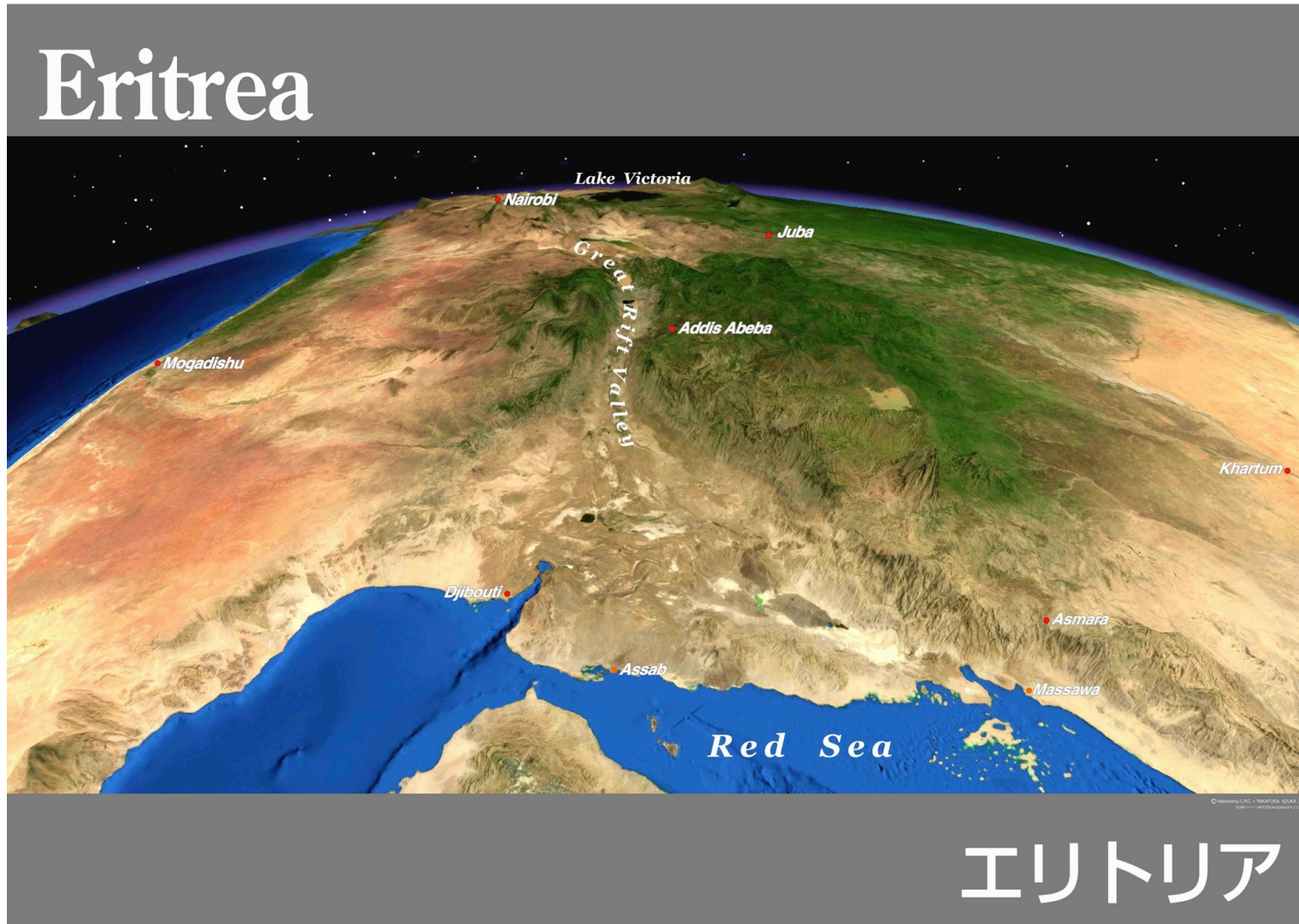


エリトリア

© Helium, LLC - HARUDA TOKYO 2013
www.helium.com

BIRDS EYE VIEW OF ERITREA BY GEOGRAPHERS 3

地理学者たちによるエリトリア鳥瞰図



ERITREA MAP MADE BY GEOGRAPHERS 地理学者たちによるエリトリア地図



ERITREA'S PRESENT & FUTURE:

エリトリアの現在と未来

- Join efforts to maintain sustainable peace and stability in the Horn of Africa and the region
アフリカの角での継続的な平和を維持する為の努力に参加
- Establish a mutually agreed partnerships with friendly countries for the transfer of know-how, technology & FDI
ノウハウ、技術、直接投資の移転の為、友好国との合意に基づく二国間関係を構築
- Invest in its population (6 million) which is open, honest and hardworking both inside and abroad
国内外の開放的で誠実、勤勉な600万人の国民への投資
- Promote self effort in national development
国家開発における自助努力の推進

